

# 放課後子ども教室だよ

## とうわどんぐり教室訪問

令和2年10月15日(木)訪問

○開設年度	平成19年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	二本松市立東和小学校	○登録児童数	登録児童数：62名
○実施回数	23回	○登録スタッフ	安全管理員：1名
○実施時間	30分	○活動内容	活動指導員：5名 絵本の読み聞かせ・語り部による昔語等

## 新しい生活様式に合わせた 読み聞かせ活動

とうわどんぐり教室には、東和小学校の1～2年生の全児童が登録しています。東和小学校は8割以上の児童が路線バスまたはコミュニティバスで通学をしているため、「どんぐり教室」では、バスの待ち時間を利用して、読み聞かせを中心とした活動が行われています。

訪問当日は、1年生がお話を興味深く聞いていました。昔語り「だまりこ」と、絵本3冊の読み聞かせが行われました。子どもたちは、吸い込まれるように聞き入り、読み手の問いかけにすぐに反応してつぶやきながら、お話の世界を楽しんでいました。

今年度のように大型テレビに絵本を映し出す形式で読み聞かせを始めた当初は、このような聞き方に慣れていなかった子どもたちもいましたが、最近では静かに聞くととき、楽しんで聞くとときの区別がつくようになり、話の聞き方が上手になってきたそうです。

スタッフの皆さんは、読み聞かせを長年行っている方ばかりなので、子どもたちの反応に合わせて話を進めたり、静かに聞いてほしいときの言葉かけを上手に行ったりしていました。

コロナ禍でも、子どもたちが友達といっしょに本の楽しさを味わえる環境をつくるために、様々な工夫がなされていました。

### コロナ禍における 活動のヒント

とうわどんぐり教室では、例年、和室に複数学年の児童が集まり、紙芝居や読み聞かせを聞くスタイルで活動を行っていました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、児童が密になりやすい和室ではなく、ランチルームで活動を行っています。さらに、複数学年ではなく1つの学年ずつ参加する形で開催しています。1年生を中心に、月に2回ほどどんぐり教室に参加しています。

空間を広く使い、児童が座るイスを間隔を空けて設置するなど、ソーシャルディスタンスを保った環境づくりに努めています。



ポイント

### 広い会場でも 読み聞かせを楽しめる工夫

すべての児童が本の内容や挿絵の細かい部分まで見ることができるよう、大きなテレビ画面に投影して読み聞かせを行っています。東和小学校の教職員（訪問当日は教務主任）の協力により、投影用の視聴覚機器の準備と撮影が行われていました。

### 東和の暮らしを語り継ぐ

昔語り担当の紺野さんは、長い間地域に伝わるお話を地域のお年寄りから聞き集め、地元の道の駅のほか様々な場所で昔語りを披露している方です。

東和小学校の子ども達にも、語りを通して郷土の暮らしぶりを伝えたいという思いから、どんぐり教室での活動を続けてきています。

紺野さんは、子どもたちに、少しでも昔の暮らしぶりが実感できる語りができるようにと、語りの内容に合わせてお話の中に登場する具体物を見せたり、簡単な説明をしたりしながら行うように心がけています。



「あっ！見つけた！」と大興奮の子どもたち